

子育てかわら版

所沢市立宮前小学校
令和6年度

No.04



毎日文章を書くことの絶大な効果

私たちの生活の中にもAIが入り込んできました。近い将来、AIを駆使しなければ仕事が成り立たない時代が来ると思います。そうした中で重要となるのが「論理的思考(ロジカルシンキング)」です。これを鍛えるには「書く力(ライティング力)」が大切であると言われています。

1 毎日書いてみる

1日10分、自分で思ったこと、感じたことなどを書いてみる、そしてこれを続けていくことが、将来大きな差となって表れてきます。

カナダのトロント大学ピーターソン教授は『生き抜くための12のルール』(朝日新聞出版)の中で、作文のすばらしさを述べています。

文章を書くことは考えることであり、考えることは自分が存在し、生きていくということである。つまり、文章を書くことは、深く考えることであり、深く考えることは賢く生きることである。賢く生きることができる人は、豊かに暮らせる確率が高くなる。



2 作文力は短期では身に付きません

ハーバード大学サマーズ教授

Q: どうしたら文章が上手に書けるようになりますか?

A: 短い文章でいいから、毎日書くことです。



20年にわたって大学生と接してきた経験から、文章を上手に書ける学生は、子供のころから短時間でも、毎日本を読んだり文章を書いたりしてきている。

◎「書くこと」＝「考えること」

3 文章力は書かなければ上達しません

文章を書く力は、漢字をたくさん知っているとか、文章問題が解けるといったことは別物です。言葉をたくさん知っていても、それ適切に文章で使えないと意味がありません。文章力は、書かないと上達しないのです。では、どんなことを書けばいいのでしょうか。



て日記を書い
みよう。



う書マテ
かいの感
しら。想
よをう



とを発見
を文した
してみよ
う。



本のニュー
の感想を
書こうかな。

◎手で文字を書くことが子供の脳を発達させるという研究結果もあります。

◎書く機会が増えると字形が整えられ、きれいな文字を書くことができ、相手にも伝わります。